

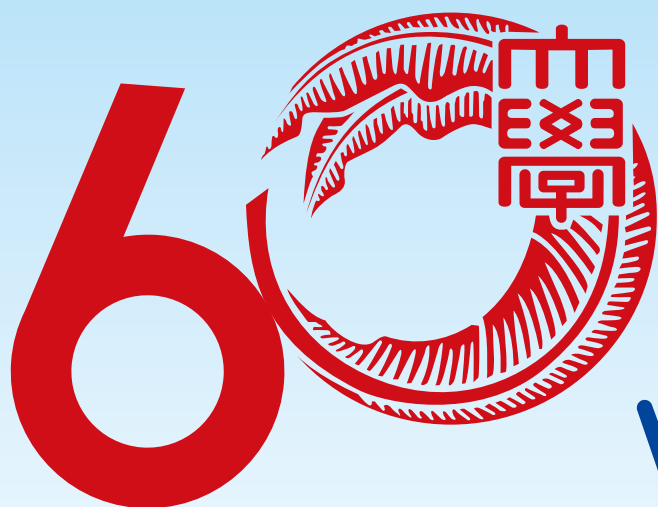


琉球大学

第37号

# 同窓会会報

平成27年3月20日



過去から未来への

## かけはし



デザイン原案：岸本 一夫(1957年卒 5期)

### 目次

■会長あいさつ	2	平成28年度教員候補者選考試験対策講座計画表	
■創立60周年記念事業始まる		■支部活動報告／学部学科同窓会總會情報	12
琉球大学同窓会創立60周年記念芸術祭		■インタビュー	18
西洋音楽・邦楽・琉球芸能の夕べ	3	■合格体験記	20
■同窓会事務局情報		平成27年度採用 教員候補者選考試験	
平成26年度定期總會概要	6	■教育余話	21
平成25年度決算・平成26年度予算概要	6	■文芸活動欄	22
平成26年度事業計画	7	■学生活動紹介	
平成26年度支部長会	8	活躍する琉大生	23
支部長及び事務局連絡先	8	サークル活動紹介	24
八重山支部が活動再開！	8	■ご案内・お願い	
平成26・27年度琉球大学同窓会役員	9	平成27年度「定期總會」等ご案内	24
「健康講演会」実施報告	10	創立60周年記念事業のお知らせ	24
第43回沖縄の寮歌・大学の歌祭りに参加	10	同窓会への寄付情報	27
■琉球大学支援事業	11	記念誌への掲載と寄付のお願い	27
琉球大学へ課外活動奨励金を贈呈		会費納入について	27
「平成27年度教員候補者選考試験」対策講座実施		退職される恩師紹介	28

## 会長あいさつ



琉球大学同窓会会長 幸喜徳子  
(教育学部体育科 1966年卒 14期)

陽春の候、皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃は琉球大学同窓会へ深いご理解、ご支援を賜り誠に有難うございます。

当会は1954年12月に第1期、2期の卒業生146人により会員相互の親睦と交流、琉球大学の発展に寄与することを目的に設立され、2014年に創立60周年を迎えました。おかげ様で現在、7万5千余の会員を擁するまでになり、これもひとえにこれまで同窓会の運営に当たられた先輩諸氏及び会活動にご協力頂いた皆様のご尽力の賜物と心より敬意と謝意を申し上げます。同窓生は県内をはじめ国内外のあらゆる分野で著しいご活躍をされ、頼もしい限りでございます。

さて、今年には60周年記念行事として～過去から未来へのかけはし～をテーマに2月11日に芸術祭を開催しました。浦添市でだこ大ホールにおいて洋楽、邦楽、琉球芸能等を網羅、同窓生200名が出演し盛会裏に終えることができました。4月21日にはチャリティゴルフコンペを県経済界をはじめ県民の皆様のご支援の下、実施いたします。

7月11日には国際的にご活躍の岸本正之氏を米国からお迎えし記念講演、式典、定期総会、懇親会を行います。

どうぞ皆様におかれましては各イベントにご参加の上、華を添えて下さいますようお願い申し上げます。記念行事終了後に記念誌の発行も予定いたしております。

2014年には八重山支部において20年振りに80名余の会員が宜野座安夫支部長を中心に集い、会を再開していただきました。創立60周年の年に八重山支部が再スタートできたことはこの上無い喜びでございます。同支部は今年1月には定期総会も開催されました。これですべての支部が各地で活発な活動を展開することとなり、琉球大学同窓会の更なるパワーアップに繋がりたいと本部役職員一同、意欲を燃やしております。どうぞ今後ともご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに皆様の益々のご健勝とご活躍、併せて琉球大学の更なるご発展を祈念しあいさつといたします。

## 同窓会創立60周年記念事業始まる

昨年12月4日に創立60周年の節目を迎えた同窓会の歩みをふり返り今後のさらなる発展を期すため、昨年7月5日に開催された平成26年度定期総会において、次のような記念事業の事業計画及び収支予算が承認されました。

今年開催される記念事業は、2月11日の「記念芸術祭」を皮切りに、4月21日に「チャリティゴルフコンペ」、7月11日に「記念式典・記念講演・祝賀会」を行います。

### ① 記念芸術祭(西洋音楽・邦楽・琉球芸能)

\* 日時:平成27年2月11日(水)  
16:00~18:30  
\* 場所:浦添市てだこ(大)ホール

### ③ 記念式典・記念講演・祝賀会

\* 日時:平成27年7月11日(土)  
14:10~17:40  
\* 場所:ホテル ロイヤルオリオン(那覇市)

### ② チャリティゴルフコンペ(親睦交流及び資金造成)

\* 期日:平成27年4月21日(火) 7:00~  
\* 場所:琉球ゴルフ倶楽部

### ④ 記念誌発行(A4版・500部)

\* 日時:平成27年12月発行予定

## 琉球大学同窓会創立60周年記念芸術祭 西洋音楽・邦楽・琉球芸能の夕べ

「過去から未来へのかけはし」をテーマに琉球大学同窓会創立60周年記念事業の第一弾、芸術祭が2月11日、浦添市てだこ大ホールで開催されました。芸術祭は、西洋音楽や琉球芸能に加え、50周年記念時にはなかった邦楽が新たに追加され、バラエティに富んだ内容。西洋音楽ではクラリネット独奏・ソプラノ独唱・弦楽四重奏、邦楽では箏と尺八、詩吟が披露されました。琉球芸能は、国指定重要無形文化財『組踊』保持者をはじめとする総勢80名余の同窓による斉唱で幕開

け。組踊や琉球舞踊などが披露され、訪れた800名余りの観客は各界の至芸を堪能し、大盛況でした。

あいさつに立った幸喜徳子会長は「草創期から今日まで同窓会の発展に関わった先輩方をはじめ関係者のご尽力に深い敬意と謝意を表します」とお礼を述べました。

「みんなで歌おう」では「琉球大学追遥歌」、「琉球大学の歌」、「芭蕉布」を出演者と会場の観客が合唱し、同窓の絆を再確認する一日となりました。





西洋音楽



「みんなで歌おう」では会場も一体になって合唱

邦楽

箏・尺八



詩吟



## 琉球芸能



今日も確実に、  
安全に。

スイッチをつけると  
照明が部屋を明るく照らす。  
ボタンひとつでテレビがついて、  
電子レンジは夕食を温めてくれる。  
会社のパソコンが、工場の機械が、  
人々の仕事を助け  
暗くなると街灯は、いつの間にか  
夜道をやさしく照らしている。  
意識することなく  
毎日の暮らしの中にある電気。  
その電気を確実に  
あなたのもとへ届けること、  
それが私たちの仕事です。  
毎日の暮らしの中で意識されないこと、  
あたり前と感じてもらえること。  
今日もスイッチをつければ  
何事もなく明かりがつくこと。  
それが私たちの誇り。  
必要な人、待っている人、その暮らしの中へ



# 同窓会事務局情報

## 平成26年度定期総会概要

同窓会の平成26年度定期総会が7月5日に那覇市のパシフィックホテル沖縄で開催され、平成25年度の収支決算や活動・事業報告、平成26年度の事業計画案及び収支予算案を審議し、原案どおり承認されました。

2年に一度の役員改選も行われ、下里義弘氏と親川啓和氏の両副会長が退任し、新たに九反田悦子氏及び喜屋武直樹氏が副会長に選出されたほか、監査員（留任2人）及び評議員（49人中新任14人）の選出も行われました。幸喜徳子会長及び副会長3人（仲門勇市氏・儀保博信氏・照屋寛八氏）は再任されました。

なお、同窓会が12月4日に創立60周年を迎えることから、必要な記念事業を実施することにしており、その事業計画や収支予算も原案どおり承認されました。

その内容は、『記念芸術祭（平成27年2月11日／浦添市でたこホール）』、『チャリティゴルフコンペ（同年4月21日／琉球ゴルフ倶楽部）』、『記念式典・記念講演・祝賀会（同年7月11日／ホテルロイヤルオリオン）』等で、これらの催しの記録等を含めた『60周年記念誌』も発行する予定です。

定期総会の後には、「沖縄県の医療の進歩、特に心臓

血管外科領域」というテーマで琉球大学医学部附属病院長の國吉幸男教授による講演会が開催されました。

講演会の後の懇親会では、鳥袋君子氏（鳥袋流千尋会琉舞練場主）門下生の皆さんによる洗練された舞踊が披露され、大城肇琉球大学長を始めとする来賓を含め多くの参加者が懇談を楽しみながら同窓会と琉球大学のますますの発展を期して和やかで有意義なひとときを過ごしました。

なお、今期総会では、長い間、活動休止状態にあった八重山支部が、大城学長を含め関係者の熱心な働きかけの結果、活動再開に向けて動き出したことが紹介されました。

久しぶりに八重山支部から出席した宜野座安夫支部長が県内外6支部から参加した各支部長達と懇親を図りながら意見交換を行い、例年のない収穫のあった定期総会でした。



照屋副会長のアコーディオン伴奏で、各支部長も交えて「琉大道運歌」を合唱



大城学長（右から2番目）、國吉附属病院長（右から3番目）を囲んで

## 平成25年度決算・平成26年度予算概要

平成25年度決算（単位：円）	
(1) 収入総額	19,681,091
(2) 支出総額	10,096,349
①運営費	5,007,396
②事業費	5,088,953
③その他	0
(3) 繰越金額	9,584,742

平成26年度予算概要（単位：円）	
(1) 収入総額	23,309,277
(2) 支出総額	12,031,000
①運営費	5,810,000
②事業費	6,020,000
③その他	201,000
(3) 繰越金額	11,278,277


**平成26年度事業計画**


年月日(曜日)		事業計画
平成26年	6月 4日(水)	教員候補者選考試験対策講座(4月9日開講 6月/4回開催)
	6月10日(火)	創立60周年記念事業実行委員会
	6月13日(金)	三役会
	6月17日(火)	監査(平成25年度決算)
	6月24日(火)	評議員会
	7月 2日(水)	教員候補者選考試験対策講座(7月/3回開催)
	7月 5日(土)	支部長会・定期総会・講演会・懇親会
	7月12日(土)	関西支部総会・懇親会
	7月24日(木)	三役会
	7月29日(火)	創立60周年記念事業実行委員会
	8月 1日(金)	教員候補者選考試験対策講座(8月/11回開催)
	8月 2日(土)	宮古支部総会・懇親会
	8月28日(木)	会報編集委員会
	9月18日(木)	三役会
	9月25日(木)	会報編集委員会
	10月18日(土)	関東支部総会・懇親会
	10月23日(木)	会報編集委員会
	11月 8日(土)	九州・山口支部総会・懇親会
	11月20日(月)	三役会
	11月27日(木)	会報編集委員会
11月27日(木)	久米島支部総会・懇親会	
12月22日(月)	会報編集委員会	
平成27年	1月15日(木)	三役会
	1月22日(木)	会報編集委員会
	2月11日(火)	創立60周年記念芸術祭
	2月26日(木)	会報編集委員会
	2月28日(土)	沖縄寮歌・大学の歌祭り
	3月19日(木)	琉球大学卒業式
	3月20日(金)	会報(第37号)発行
	4月 3日(金)	琉球大学入学式、合格・入学祝、記念品贈呈、入会金納付案内
	4月 8日(水)	「平成27年度教員候補者選考試験」対策講座開講式
	4月21日(火)	創立60周年記念チャリティゴルフコンペ
	5月21日(木)	三役会
	5月	寄付金(学生課外活動奨励金)贈呈
	5月22日(金)	琉球大学開学記念日

沖縄を緑の島に 緑と花で心に安らぎを!



代表取締役頭取 上地 英由

## 🌸 平成26年度支部長会 🌸

定期総会に先立って、例年どおり県内外7支部の支部長と同窓会三役(会長・副会長・事務局長)が出席する支部長会が開催されました。

幸喜徳子会長の挨拶に続き、高山厚子関東支部長、上地安昭関西支部長、照屋常信九州・山口支部長、山田和憲奄美支部長、儀間周倫久米島支部長、長濱幸男宮古支部長に加え、今年度から活動を再開した八重山支

部から宜野座安夫支部長が参加しました。

各支部長から、この一年間の活動状況について報告があり、また、八重山支部長からは活動再開に至った経緯や今後の活動計画、抱負などについて報告がありました。

(各支部の状況については、P12～P17をご覧ください。)

## 🌸 支部長及び事務局長連絡先 🌸

支 部 (会員数)	名 称	氏 名	電話番号	住所・E-メールアドレス
関 東 (590)	支 部 長	高山厚子	03-6226-2200	〒104-0061 東京都中央区銀座4-9-6 陽光銀座三原橋ビル6F (中島信一郎法律事務所内) takayama2002atsuko@yahoo.co.jp
	事務局長	金城利光	080-5020-4369	kinjo@idj.co.jp
関 西 (150)	支 部 長	国吉兼三	0721-55-0948	〒586-0094 大阪府河内長野市小山田町3079-17
	事務局長	小渡照生	0729-64-7237	nahatuboya282@yahoo.co.jp
九 州・山 口 (100)	支 部 長	照屋常信	092-725-0617	〒810-0045 福岡県福岡市中央区草香江1-6-29-101
	事務局長	松下博文	090-5479-0268	matushita@chikushi-u.ac.jp
奄 美 (200)	支 部 長	山田和憲	0997-53-8343	〒894-0031 鹿児島県奄美市名瀬金久町22-9
	事務局長	岡村 誠	0997-54-2030	makototao@fute.ocn.ne.jp
久米島 (60)	支 部 長	儀間周倫	098-985-8956	〒901-3105 久米島町字宇根54
	事務局長	平田光一	090-9782-5663	〒901-3115 久米島町字儀間494
宮 古 (300)	支 部 長	長濱幸男	0980-72-9664	〒906-0007 宮古島市平良字東仲宗根1692-5
	事務局長	下地國雄	0980-73-3313	〒906-0007 宮古島市平良字東仲宗根741-11
八重山 (200)	支 部 長	宜野座安夫	0980-86-7841	〒907-0242 石垣市字白保268-35
	事務局長	宮良永秀	0980-82-4701	〒907-0243 石垣市字宮良232-10

## 🌸 八重山支部が活動再開!! 🌸

長い間、活動休止状態にあった八重山支部が、大城肇学長を含め多くの関係者の方々のご尽力の結果、今後の飛躍に向けて活動再開のスタートを切りました。

活動再開のスタート台となる「総会及び懇親会」は昨年8月30日夕方、石垣市内のホテルで盛大に開催されました。会場には主催者の予想を大幅に超える老若男女約80人の会員が集まり、参加者の誰もがこの日を待ち望んでいたような、熱気溢れ和気あいあいとした雰囲気が会場内に満ちあふれていました。

当日は、大城学長も忙しい日程を工面して参加され

また、同窓会(本部)からも幸喜徳子会長や儀保博信副会長等が参加しました。出席された伊舎堂用八前支部長や糸洲長章前支部事務局長など、それぞれの挨拶の中で、支部に期待される地域への貢献や琉球大学への支援等、八重山支部の今後の活動への強い期待感が述べられました。

新支部長には、白保中学校長の宜野座安夫氏、事務局長に石垣市教育委員会学校指導課長の宮良永秀氏が就任し、大勢の出席者で支部の再スタートを盛大に祝いました。





# 平成26・27年度琉球大学同窓会役員



注:「※」印は新

役 職	氏 名	卒業(期・年・学科)		役 職	氏 名	卒業(期・年・学科)		
会 長	幸喜 徳子	14	41	体育	評議員	當真 正姫	H19 法科大学院	
副会長	仲門 勇市	9	36	法政	福里 重盛	14	41	化学
	儀保 博信	14	41	社会	狩俣 信子	15	42	法政
	照屋 寛八	17	44	音楽	仲筋 一夫	15	42	化学
	九反田悦子*	26	53	経済	下里 義弘*	16	43	畜産
	喜屋武直樹*	41	H5	経済	与那嶺清子	16	43	経済
顧 問	富永 元順	2	29	政治	新城 勇	17	44	機械
	市村 嘉久	2	29	政治	照屋由紀子	17	44	音楽
	安次富長昭	2	29	美術工芸	神谷 乘仁*	17	44	技術教育
	大城 盛三	2	29	英文	奥 キヌ子	18	45	家政
	比嘉 正幸	5	32	政治学及法学	中村 一男	18	45	数学
	赤嶺 健治	8	35	英文	当山 尚幸*	19	46	法政
監査員	波平 正	23	50	商学	島袋 君子	20	47	体育
	仲本 喜一	28	55	経済	上原 正信	21	48	農学
評議員	森田 恒勝	2	29	経済	赤嶺 徳男*	21	48	法政
	津留 健二	4	31	政治学及法学	川平 恵造*	21	48	美術工芸
	高山 朝光	6	33	社会学及経済	玉城きみ子*	21	48	初等教育
	宇地原徳淳	6	33	体育	屋良 明	21	48	商学
	友利 徹男	6	33	生物	玉城 健治	24	51	経済
	上原 政英	8	35	畜産	加賀美英志*	24	51	電気工学
	嘉手苅喜郎	8	35	初等教育	武富 良晃*	24	51	経済
	宮城 武久	9	36	電気工学	親川 啓和*	26	53	法政
	仲村渠良雄	10	36	体育	米盛智恵子*	26	53	養護課程
	前川 朝文	10	37	初等教育	比嘉 正幸	27	54	短期大学部
	大山 隆*	11	38	生物	當真 良明	30	57	法政
	名嘉地用輔	12	39	経済	根路銘三恵	30	57	保健
	当真 邦子*	12	39	体育	比嘉 梨香	31	58	社会
	上江洲公志	13	40	英語	上原 修	31	58	社会
	渡久山秀治	35	62	農芸化学	大湾 知子	32	59	保健
	増田 昌人	36	63	医学	役 職	職 名	氏 名	卒業(期・年・学科)
	平岡 孝	36	63	経済	事務局	事務局 長	比嘉 忠信	18 45 経済
	島袋 清人*	36	63	機械工学		"(26年12月~)	山里 将順	24 51 法政
	大庭 達人*	39	H3	農学		事務局次長	大城 朝憲	16 43 史学
	前泊 美紀	44	H8	法政		総務部長	大兼 一夫	27 53 英文

●顧問の大城盛三氏は、平成26年11月10日に、評議員の宇地原徳淳氏は、平成27年1月1日にご逝去されました。ご冥福をお祈り申し上げます。

おいしい幸せ

# オキコ

<http://www.okiko.net>



## 「健康講演会」実施報告



定期総会の後に、「沖縄県の医療の進歩、特に心臓血管外科領域」というテーマで琉球大学医学部附属病院長の國吉幸男教授による講演会が開催されました。國吉教授からは、沖縄県や国内外の医療の歴史を始め、最先端医療分野の状況等について図や写真を使用した分かり易い講話をしていただきました。

参加者に教授の知人・友人等もあり、時折、冗談を交えながら親しみやすい口調で分かり易いように講話をしていただいた講演会は、参加者から「本県内外の心臓関係の医療の進歩の状況と現状がよく分かった。心臓関係の病気は大変怖いものだというイメージばかりが強かったが、病気に対して前向きに考えることができ大変有意義だった。」と好評でした。



國吉教授による「健康講演会」



## 第43回沖縄の寮歌・大学の歌祭りに参加



第43回「沖縄の寮歌・大学の歌祭り」は、平成27年2月28日(土)に浦添市てだこホール(市民交流室)で開催されました。

当日は、県内外大学から約150人の同窓生が参加しました。各大学の参加者は、揃いの法被や鉢巻きをするなど服装にも趣向を凝らし、気分を高揚させつつ各々の母校の寮歌等を力強く歌い合いました。

琉球大学からも、幸喜徳子同窓会長ほか10人が参加し、「琉大逍遙歌」と「雲よ湧け千原の空」を披露して会場の雰囲気盛り上げ、他の参加者との交流を深めました。



琉大逍遙歌等を披露

技術と創造で地域に奉仕する

～あらゆるニーズに応える機械・電気設備のエキスパート～



**沖縄プラント工業(株)**

代表取締役社長 佐久真 章

〒901-2131 沖縄県浦添市牧港四丁目11番3号  
TEL(098)876-2535(代) FAX(098)877-9993

# 琉球大学支援事業

## 琉球大学へ 課外活動奨励金を贈呈

昨年5月1日、幸喜徳子同窓会長ほか役員が琉球大学を訪れ、大城肇学長に対し学生の課外活動を奨励するための資金として100万円を贈呈しました。

この「課外活動奨励金」の寄付は、同窓会が母校への支援事業として行っているもので、平成元年度以降毎年、琉球大学に100万円を贈呈しているものです。

大学によると、平成25年度の奨励金は述べ24団体(サークル)・408人に授与され、地区大会や全国大会への派遣費用等学生の勉学以外の活動に有効に活用されていると、大城学長からも感謝の言葉がありました。

## 「平成27年度教員候補者選考試験」 対策講座実施

同窓会は会員の就職活動支援として毎年、琉球大学の在学生及び卒業生を対象に、(県が実施する)教員候補者選考試験対策としての無料講座を開設しています。

昨年は4月9日～8月15日の間、全21回(基本的に週1回)に亘って実施し、教員選考試験対策の指導に経験豊富な講師陣の下、延べ667人が夜間講座を受講しました。

この講座は、本年も下記「平成28年度教員候補者選考試験対策講座計画」のとおり開設する予定です。関心のある皆さんの受講をお待ちしています。

## 平成28年度(平成27年度実施)教員候補者選考試験 対策講座計画表(案)

No.	月/日(曜)	講座の内容	講師氏名	講師略歴	区分
	4/ 8(水)	開講式			
1	4/ 8(水)	教員に求められるもの(選考の視点)	津留 健二	元県教育長	一次 試験 対策
2	4/15(水)	学習指導要領概説Ⅰ(小中学校)	山田 稔	元小学校長	
3	4/17(金)	志願書の記入添削と指導	神元 正勝	元高校長	
4	4/30(木)	学習指導要領概説Ⅱ(高等学校)	上江洲公志	元高校長	
5	5/ 7(木)	一般教養Ⅰ・練習問題	上江洲公志	元高校長	
6	5/13(水)	一般教養Ⅱ・練習問題			
7	5/20(水)	一般教養Ⅲ・琉球歴史Ⅰ・練習問題	比屋根為勝	元小学校長	
8	5/27(水)	一般教養Ⅳ・琉球歴史Ⅱ・練習問題			
9	6/ 3(水)	教育法規Ⅰ・憲法、教育基本法	大嶺 和男 山田 稔	元高校長 元小学校長	
10	6/10(水)	教育法規Ⅱ・学校教育法、学校保健安全法			
11	6/17(水)	教育法規Ⅲ・学校教育法施行規則			
12	6/24(水)	教育法規Ⅳ・いじめ対策防止等、練習問題			
13	7/ 1(水)	教育法規Ⅴ・県施策・教育施策等			
14	7/29(水)	自己アピール文の作成と指導	神元 正勝	元高校長	二次 試験 対策
15	7/30(木)	教育論文の書き方			
16	7/31(金)	教育論文の作成と添削指導			
17	8/ 3(月)	学習指導案の作成と添削指導			
18	8/ 4(火)	模擬授業の仕方と実践			
19	8/ 5(水)	模擬授業の仕方と実践			
20	8/ 6(木)	個人面接の傾向と対策			
21	8/ 7(金)	英文自己紹介文作成と面接(小学校)	上江洲公志	元高校長	
22	"	英作文及び英語面接(中学校・高校)	新垣 信雄	元高校長	
		《総合指導・個人指導》			総合・ 個人 指導
23	8/10(月)	教育論文の作成と添削指導	神元 正勝 他		
24	8/11(火)	自己アピール文の作成と添削指導			
25	8/12(水)	英文自己アピール文と面接指導	上江洲公志 他		
26	8/13(木)	学習指導案の作成と添削指導	神元 正勝 他		
27	8/14(金)	模擬授業の実践指導			

【時間】毎回18:00～19:30 【場所】50周年記念館多目的室(A・B)／50周年記念館交流ラウンジ(8月7日)

【連絡・問合せ先】〒903-0213 西原町字千原1番地 琉球大学同窓会(事務局長:山里将順、書記:仲里恵子)

電話:098-895-8039/FAX:098-895-8163 Eメール:r-dousou@to.jim.u-ryukyuu.ac.jp

# 支部活動報告

## 関東支部

支部長 高山厚子

2014年度の関東支部の総会及び懇親会は、10月18日(土)正午より、大学からは大城学長と平良総務課長、同窓会本部からは幸喜同窓会会長と照屋副会長にご臨席いただき、また、関東支部の同窓生60数名の参加を得て、盛会裏に開催することができました。隔年ごとに開催される機械工学科の同窓会からの合流がないため参加者の減少が懸念されていましたが、幹事の方々の尽力で名古屋や九州・沖縄からの参加者もあつて例年同様の盛り上がりを見せました。

総会が滞りなく終了した後、懇親会では参加者全員

の近況報告が行われ、あらためて同窓生の各界での活躍ぶりを確認することができました。例年同様、「久米島の久米仙」からご提供の泡盛で舌鼓を打ち、最後は仲本光正主宰の「クイチャーパラダイス」による沖縄民謡と舞踊のパフォーマンスで盛り上がりました。

今後も同窓会への参加者を増やしていくべく、関東支部ではいろいろな取り組みをしていく予定ですが、最も大きなイベントである総会・懇親会の内容をどうすべきか、模索中です。会員の皆さんの知恵を集めて、充実した同窓会にしていければと思います。



総会・懇親会(平成26年10月18日「日本教育会館 飛鳥の間」)



大城学長のごあいさつ



懇親会の模様

## ～学生・教職員の大学生生活を応援します～

【琉球大学ロゴマーク入り商品もあります】

- 事業内容: 食堂・旅行・書籍・公務員対策講座・英語講座・就職支援・部屋の紹介など
- 琉大ロゴマーク入りオリジナル商品: 「60周年記念泡盛ボトル(2種類)」 「琉球ガラスのグラス(各色)」 「ノート」 「3色ペン」 「琉球松軸のペン」 「クリアフォルダ」 「ハンカチ」 「金のしおり」 「ポロシャツ」 など。購入については下記までお問い合わせください。

## 琉球大学生生活協同組合

TEL: 098-895-2620 琉球大学内 HP: <http://kyushu.seikyou.ne.jp/ryudai-coop/>

## 関西支部

支部長 国吉兼三

関西支部の第25回定期総会は、2014年7月12日に大阪市大正区で開催されました。今回は、大城肇学長が就任以来初めてご出席され、同窓会本部から幸喜徳子会長と仲門勇市副会長をお迎えして盛大に開かれました。実は大城肇学長はその3年前の第22回支部総会に当時副学長としてご臨席いただいております。幸喜会長は毎年ご参加いただいております。仲門副会長はかつて関西支部の会員で、記録によると2003年総会まで名前を拝見することができます。場所は例年にならない沖縄料理の店「おもろ」を使い、参加者は新人二人を含め31人、いつもより会場が狭く感じられました。

さて、今回は役員改選の年で、支部長が上地安昭から国吉兼三にバトンタッチされ、幹事に新しい方も加わり新執行部がスタートしたわけですが、残念なことに関西支部創設に多大な貢献をされた山城賢孝顧問の姿がなかったことです。前回の総会には元気な顔を見せてくれたのですが、10年近い闘病生活の末2014年4月に他界されました。総会当日に発行された『支部会報』第7号に山城さんのことが詳しく触れられております。また、この会報には成田義光、金城盛紀、



秋の親睦昼食会(平成26年11月23日「やぶっちゃんの湯」)

山城の三人の顧問が毎号原稿を寄せており、大城肇学長からは国吉新支部長との私的な縁を記した心温まる原稿をいただいております。江本良時さんの「広島山間部でFM沖縄を聞く」というユニークな文も掲載されています。ちなみに今号の表紙を飾ったのは、世界遺産・斎場御嶽でした。

恒例の秋の親睦昼食会は、11月23日に三重県伊賀市の「やぶっちゃんの湯」で実施されました。この行事は今回で18回目を迎えたのですが、参加者が18人と、前回の21人、前々回の26人に比べたら少し寂しい集いでした。めずらしく今回は、昼食会の常連であった5期卒以前の先輩会員がすべて不参加でした。もちろん山城さんの万葉講座もありません。しかし、遠く広島県から17年ぶりに参加した会員、名古屋からバイクで来られた会員もあり、旧交を温める良い機会となりました。この日は天気にも恵まれ、キャンプ場のある周辺を散策したり温泉に入ったりと、思い思いに限られた時間を楽しみました。昼食会の後は伊賀上野城まで足をのびし、紅葉に染まる天守閣や高石垣、松尾芭蕉を記念した俳聖殿などを見学、秋深まる伊賀路を満喫いたしました。



総会・懇親会(平成26年7月12日「おもろ」)

# 新中糖産業株式会社

代表取締役社長 福里重盛

〒903-0103 沖縄県西原町字小那覇 628 番地 1  
TEL. (098) 945-3311  
FAX. (098) 835-8179

## 盛会だった日田総会

平成26年度当支部定時総会・懇親会は、秋たけなわの平成26年11月8日、旧天領の地、大分県日田市において、地元在住同窓生の絶大なご協力の下、60名余という支部創設以来最も多くの参加者を得て盛大に開催されました。

本年も、遠路本学から大城肇学長、同窓会本部から幸喜徳子会長及び仲門勇市副会長のご臨席を賜りました。ありがとうございました。

当支部総会は、例年福岡市内において開催されてきましたが、昨年度総会において、日田市を中心とした同窓生の熱い思いに動かされ、本年度は初の試みとして福岡市以外の地、日田市で開催することにいたしました。

当日は、折りからの江戸文化の香り漂う日田豆田町を中心に、約3万本の竹燈籠で彩られる「千年のあかり」等の「天領まつり」が開催されており、県外からの観光客も多く、昼間から華やいた雰囲気にもまれていました。

同窓会の会場もイベント会場内の膳処「ごうや亭」でしたので、総会の議事終了後、参加者全員、地元メンバーの案内で趣向を凝らした幻想的な光の祭典を心ゆくまで堪能したものです。その後「ごうや亭」に戻り

懇親会となりました。

懇親会は、本総会開催に当たり中心にお世話いただいた日田市役所勤務の梅山武彦氏の歓迎のあいさつに続き、日田のメンバーの肝いりで特別に用意された「オリオンビール」で高らかに乾杯した後、「ごうや亭」の心の籠った美味しい日田料理に舌鼓を打ちつつ、土産にいただいた郷里の泡盛や宮崎産の高級焼酎を互いに酌み交わしました。初対面の者は同窓であることを喜び、旧知の者は旧交を温め合い、宴もいよいよ盛り上がりしてきました。なお、サプライズでしたが、日田市長の原田啓介氏が、日田市での同窓会開催を喜ばれ、歓迎の意を伝えたいと、ご多忙の中、懇親会場に立ち寄られ歓迎のあいさつをされたことに大変感激いたしました。参考までに、日田市役所には現在、前記梅山氏をはじめ、10名の同窓生が活躍中とのことです。

懇親会は、時が経つのを忘れるほど盛り上がり、最後に琉球大学逍遥歌を合唱し、再会を約束して散会となりました。琉大逍遥歌の旋律が日田の夜の街に流れたかと思うと感慨深いものがありました。

終わりに、今回の日田での総会開催にご協力いただきました皆さんに心からお礼申し上げます。ありがとうございました。



総会・懇親会  
(平成26年11月8日  
「ごうや亭」)



懇親会の模様



「千年のあかり」見学



## 奄美支部

奄美群島広域事務組合(群島内12市町村で構成)と琉球大学との包括連携協定が平成26年9月13日になされ、大城学長と事務組合管理者の朝山奄美市長が協定書にサイン押印をし、産業、学術、文化、防災等とあらゆる分野について、琉球大学と連携協力を推進していくこととなりました。

調印式には、同窓会を代表して支部長が参加させて



総会であいさつをする山田和憲支部長(平成27年1月24日「あまかん」)

## 支部長 山田和憲

いただきました。今後、地元奄美と母校のより一層の関係強化が図られていくことが期待されます。また同窓会としましても側面から協力していきたいと考えております。

明けて平成27年1月24日支部総会及び懇親会を開催、本部から幸喜会長、山里事務局長、また大学から大城学長、平良総務課長に参加いただき賑やかに開催できましたことを報告いたします。

会には、分校世代の方も四人の参加があり、また沖縄に転居した前副支部長の大山さんも駆けつけるサプライズもあり、歓談のひと時を交わす楽しい一日となりました。

奄美支部は、世代間の差がかなり大きいのですが、そこは、地元の意識、また琉球大学という繋がりの中でカバーし合い、今後とも世代間交流を進め、活動してまいります。

## 久米島支部

平成26年11月27日に久米島支部総会を開催し、大城学長、仲門同窓会副会長が出席されました。宮城重哲氏(久米島出身、同窓生)による「琉大医学部を中心とした再生医療プロジェクトの推進」、沖縄農業の「付加価値の高い農作物の発掘、新商品の開発」についての講話、学長より「サテライトキャンパス」の設置について久米島町への要請報告と支部活動への激励をいただきました。この事業は、久米島の生徒に大学の学びに関わる多くの情報を提供し、目標の設定や進路選択に大いに役立つと思います。支部もその実現に向けて共に取り組むことを確認いたしました。

昨年度の支部活動は、支部総会、東海大学教授儀間敏彦教授による「久米島の持続可能な経済発展とその可能性」、琉大農学部名誉教授仲地宗俊先生による「環境と調和した農業経営の取り組み」講演会への参加、「琉大公開講座の説明」、「町内各学校の管理職との意見交換」、「琉大合格者の激励、児童生徒の学習意欲の高揚に関すること」等を中心に取り組んできました。近年、久米島高校から琉大へ進学する生徒が徐々に増えてきています。今後も生徒を激励し、琉大への進学意欲を高めていきたいと思ひます。また最近オープンしたパークゴルフ場を活用し会員の健康増進、親睦を図り、会活動の活性化に努めていきます。

## 支部長 儀間周倫



総会・懇親会(平成26年11月27日「はなくめ」)

久米島支部の主な活動計画を紹介します。

- ① 総会
- ② 本部定期総会への参加
- ③ 新会員の歓迎
- ④ 学校、関係団体との連携
- ⑤ 親睦レクリエーション
- ⑥ 琉大合格者、在学生激励
- ⑦ 琉大留学生ホームステイ受入
- ⑧ その他、臨機応変に対応

## 宮古支部

支部長 長濱幸男

### ● 2014年度宮古支部活動状況報告 ●

2014年度の宮古支部の定期総会は8月2日(土)午後4時から市内のレントランのむらで開催し、大城肇学長や同窓会から幸喜徳子会長も出席されました。



定期総会(平成26年8月2日「レストランのむら」)

### ● 具体的活動状況 ●

#### 1. 会員相互の親睦について

6月7日(土)午後3時からグラウンドゴルフ大会と懇親会を実施した。会員13人が参加して和気あいあいと楽しい大会となりました。学生時代の思い出話や同窓会活動に対する思いが語られ、とても有意義な大会・懇親会となりました。もちろん宮古名物のオトリーもまわり盛り上がりました。

#### 2. 琉球大学との連携強化について

- \* 11月1日宮古島地域住民による健康まちづくり「知っておきたい排尿ケア」に参加。
- \* 法文学部講座「第7回地域貢献フォーラム」への参加。

#### 3. 地域における活動について

- \* 支部総会後の講演会で、ODA事業でラオスに、派遣された生物学科18期生の久貝勝盛氏が「ラオスの教育、文化、自然」の講演を行いました。

\* 宮古支部は恒例となっている「夏休み親子教室」を今年のはじめて海を渡り、多良間小・中学校で実施しました。(会員6人参加)

\* 中学校では、「獅子頭づくり」木工教室、草笛・けん玉教室、校庭の雑草調査を実施。40人の生徒が参加しました。

\* 小学校では「おもしろ科学実験」教室、「草笛・けん玉」教室を実施。30人の生徒が参加した。

\* さらに、保育所と老人ホームの慰問を行い、おおいに盛り上がりました。

\* 多良間村教育委員会の全面的な支援がありました。(旅費、材料費など)



雑草調査



けん玉教室

コンピュータのことならお任せください

ASyc 株式会社アシック

代表取締役 上原 仁吉

〒532-0011 大阪市淀川区西中島5丁目8番3号(新大阪サンアールビル北館)

TEL:06-6306-5041 FAX:06-6306-1470

E-Mail: asyc@asyc-inc.co.jp

URL: http://www.asyc-inc.co.jp/



## 支部の再結成と新年会の開催

八重山支部は昨年8月30日の結成総会で産声をあげた新しい支部です。

当支部は平成2年まで活動していましたが、いつの間にか停滞していました。八重山・鳩間島出身の大城肇学長の誕生を期に、大城学長の古里応援団という意味合いも込め、再結成にこぎつけました。

8月30日当日は琉球大学大城肇学長はじめ、幸喜徳子同窓会長他、80名余の会員が出席され、久方ぶりの琉大同窓会に、和気あいあいと歓談していました。

私たち実行委員も何名参加されるのか、大変悩みましたが、当日は予想以上の大人数で料理も不足するほどでした。皆さんが喜んで歓談する姿を見て、役員一同、胸をなで下ろしました。

それから半年が経過した平成27年1月。私たち役員思いは早めに総会を開き、会則を承認していただくことと、役員を選任し、活動を盤石なものにすることでした。そこで、ご案内を差し上げるとともに、地元新聞への勧誘記事や、地元FMラジオを通じた呼びかけ等を行いました。

1月11日(日)午後3時より、グラウンドゴルフで心地よい汗を流した後、午後6時半から麒麟閣にて総会、並びに新年会を開催しました。

総会には同窓会長：幸喜徳子氏、副会長照屋寛八氏もお見えになり、総会に花を添えて頂きました。

その後の、新年会は八重山伝統の鷺の鳥節での座開きのあと、グラウンドゴルフ大会の表彰等を行い、表彰者のユーモアあふれる挨拶に皆さん楽しんでいました。

さらに、当日は関東支部元会長の渡久山長輝氏もお見えになり、県功労賞受賞も併せて、皆で乾杯を捧げ祝福しました。



新年会の様子(平成27年1月11日「麒麟閣」)

### 八重山支部のこれまでの経過

- H25年4月20日：本部より幸喜会長が、八重山支部長、事務局局長を訪ね支部活動再開を要請
- H26年2月10日：宮良永秀氏と宜野座安夫で設立に向けて協議
- H26年3月28日：設立に向けての話し合い 宜野座安夫
- H26年3月30日：・仲田森和・宮良永秀・知花英孝でスタートすることを確認
- H26年4月25日：伊舎堂用八氏宅へ訪問し承認を得る
- H26年7月 5日：琉球大学石垣サテライト局開設
- H26年8月30日：式典へ参加(石垣市立図書館) 琉大同窓会へ出席(支部長)／設立総会開催(ホテル日航八重山)／大城学長、幸喜会長多数ご参加総80名余／支部長宜野座安夫・副支部長仲田森和・事務局長・宮良永秀・会計知花英孝の4名を承認
- H27年1月11日：午後3時よりグラウンドゴルフ・午後6時半より総会・新年会開催(30名余)／新たに副支部長：知念修・真栄田義功／幹事：仲血利治・知花英孝・黒島章子・平田沙織／監査：前上里徹・嘉良寧氏を承認し、平成27年度のスタートを切った。

### 平成27年 活動計画

- ① 琉球大学同窓会創立60周年記念事業への協力
- ② 琉球大学八重山出身合格者激励会
- ③ 会員親睦交流のための行事
- ④ その他

## 学部・学科同窓会総会情報

### ● 医学部医学科同窓会講演会・懇親会

(本部から仲門勇市副会長が出席)

平成26年7月20日(日)／ラグナガーデンホテル

### ● 商学経営学友会総会・懇親会

(本部から比嘉忠信事務局長が出席)

平成26年10月29日(水)／ザ・ナハテラス

### ● 体育科・保健体育科同窓会・懇親会

(本部から幸喜徳子会長が出席)

平成26年11月29日(土)／琉球大学生協北食堂

# Interview

琉球大学を卒業後、各方面でご活躍の同窓生を紹介します。

今回は、就任ほやほやの衆議院議員仲里利信氏、沖縄県副知事・安慶田光男氏に在学中の思い出や後輩へのエール、沖縄の将来、夢などについて語っていただきました。  
(文責：編集委員 上原 修)



衆議院議員  
仲里利信  
1960年卒 8期  
文理学部化学科

## ■ 琉大時代の思い出を

私は南風原町兼城に住んでいて、大学には歩いて通っていました。40分ほどかかりました。ちなみに高校(知念高校)のときも徒歩通学で、バスに乗ったのは卒業式があったその日だけです。親はお袋1人でそんなに稼げない。だから私は「授業料は自分で稼ぐから、大学に行かせてくれ」と親に頼んだんですよ。当時、2300坪くらいの畑があり、私は高校時代からサトウキビを植えていました。

そして大学にも合格することができました。当時のエピソードとしてこんなことがありました。大学合格がまだ決まってない時期に大学の施設課を訪ね、「アルバイトをさせてほしい」と頼み込んだんです。大学側は「合格もしないうちから何を言うか」ですよ。それでも私の希望はのちにかない、キャンパス内で施設の修理関係の仕事をしました。時給は当時B円で13円です。授業料は年間で確か1000円。アルバイト料は月に1300円くらいありましたから、いい稼ぎでした。1000円は家に入れ、私の小遣いは300円そこらです。私の記憶では当時、セブンアップ飲料と泡盛2合くらいで35銭くらいでした。琉大から歩いて那覇の街に行ったものです。

## ■ 面白いエピソードですね。サークル活動とかは

私は空手をやっていて、琉大で空手道連盟をつくりました。剛柔流、小林流、松林流が集まってできたものです。さらに上地流なども加わって全部で6チームによる「全琉体育祭」というイベントがあって、私は琉大代表で模範演武をやった経験もあります。開催場所は波上宮とか牧志ウガンなどでした。余談ですが、当時は空手をやっている人は一目置かれていて、下駄をはい

て街を歩けば、周りの人が道を開けてくれるんですね。

## ■ 授業などはどうでしたか

知人からノートを借りて試験に臨むことも結構あって、授業は「代返」を頼んだりもするありさまでした。池原貞雄先生の講義の関係でこういうことがありました。夏の暑いときに汗をかいて、図書館前に座っていたら、同じ専攻の同級生たちがぞろぞろと教室から出て来るんですよ。聞いたら試験があった、と言うんです。私は慌てました。ダメ元で、「試験のことは忘れていました。ぜひ試験を受けさせてください」と頼み込み、教官室で受けることになりました。わずかな時間で知人から借りたノートを読み、試験にチャレンジしました。そしたら、僕は「A」の評価を得て、ノートを貸した知人は「C」でした(笑)。

先に話した空手やアルバイトなどに追われ、学業にはほとんど時間がなく、……授業にはさほど熱心じゃなかったんですね。

## ■ 恩師について聞かせてください

理工学部長を歴任した兼島清先生ですね。先生は南極観測船の「宗谷」に学術班として乗り込みました。観測船乗船は県内から第1号でした。私の結婚式には兼島先生を仲人にお願ひしました。私は卒業後琉大で2年ほど非常勤講師をやりましたが、確か兼島先生に頼まれたからでした。

## ■ 琉大の後輩たちにエールを

目標を立てて、自信を持ってやってほしい。そのためには常日ごろの努力の積み重ねが大事です。そしてチャンスをつかめと言いたいですね。私は県議会議員を勇退して7年がたったが、今回こういう立場になった。いつ何時チャンスは回ってくるか分からない。人生には最低でも3回はチャンスがあるといわれています。大学の専攻にこだわる必要はありません。大学はあくまでも基礎の勉強であって、実際は社会人になってからいろいろ学ぶことが多いんです。

## ■ 沖縄の将来など、夢について

私は、世界最高水準の大学を沖縄にという持論を

持っており、県議会などでその持論を展開してきました。これが実現しています。沖縄は軍事的にアジアのキーストーンであるかもしれないが、経済的にはまさにアジアのキーストーンになり得ると思っています。そのためには子供たちに英語教育を徹底してやる必要

があります。物流の拠点になるためにも英語は必要であり、併せて中国語も重要です。歴史的にみて、中国とやさしくできるのも日本の中では沖縄しかないでしょう。そういうことで頑張らないといけないでしょう。



沖縄県副知事  
安慶田 光 男  
1971年卒 19期  
農学部畜産学科

### ■ 琉大時代の思い出について

大学に来たら大人扱いになり、生活環境が高校とはがらりと変わりました。夜遊びはできるし、お酒も飲める。それから講義のプログラムは自分で決める、ということにまず戸惑ったことを今でも鮮明に覚えています。

私は八重山農林高校出身で、周りには先輩や知り合いもいませんでした。だから最初は八重山芸能クラブに入部しましたね。ただ、そこはちょっとかじったほどの期間しかいませんでした。それとは別に4年間活動したのが放送研究会でした。ちなみにRBCのアナウンサーだった東江八十郎さんは1967年入学の同期で、それからずっと一緒でした。ほかにも、のちに県内で活躍したアナウンサーたちが部員としていましたよ。

さっきの話になりますが、サークル活動をやったのは、友達もいなくて寂しかったからなんですね。放送研究会といっても、僕はアクセントには自信がなくて、もっぱらプロデュースとか、役員として走り回るほうでした。酒が飲める「コンパ」などはほんとに楽しみでした。

### ■ 学業面、アルバイトなどは

勉強ですが、農林高校出身ということもあって、教養科目は相当苦勞しましたよ。英語の授業で、最初に登録した先生が外国人で、英語しか話さない。「学科と名前を」といきなり質問されて、「畜産学科」と答えられず、これは大変なことになったと思いました。結局授業を受けずに出て行きました。当時は確か講義選択の調整期間が2週間あり、さっそく他の英語の先生の

クラスに変更しましたね。

専門課程になる3年からは「遊べーぐわー」でした。高校の3年間である程度やってきたことなので、なんでもなかったんです。3、4年の時は試験の前日でもお酒を飲んだりしていましたからね(笑い)。

アルバイトは、2年生の時に家庭教師、3年生の時は久茂地の球陽館というホテル(現ホテルサンパレス球陽館)でやっていました。ホテルは夜10時からの出勤で、翌朝の8時まで。それが毎日で、それからバスに乗り、授業ですよ。4年からは親の仕送りもなかったんですが、あのころはそば屋が流行っていたので、琉大近くで私はそば屋を始めました。そば一杯10セント、15セントの時代で、1日に12ドルほど稼ぎましたから、客は相当入っていました。

ちなみに私は男子寮にいましたが、当時の宿代は1か月1ドル25セントで、食事代は10ドル。合わせて月額11ドル25セントだったと記憶しています。

### ■ 大学時代に読んだ本は？

中途半端に学生運動をしている感じでしたが、マルクスの資本論は読んだことがありました。

### ■ 琉大の後輩たちにエールを

同窓生たちは自信を持って各方面で活躍しており、沖縄の中核にいます。これからも経済や文化などで沖縄を支えていってほしいですね。

### ■ 最後に沖縄の将来について、夢などを聞かせてください

島しょ県の沖縄は自然に恵まれ、観光は今後もリーディング産業になっていきます。入域客は順調に伸びていますが、量を求めるだけでなく、質を高め、アジアをターゲットに経済発展を期したいところです。アジアに向け、沖縄が日本のフロントランナーとしての役割を果たせると思う。そのために県民一丸となって頑張りたいですね。子や孫の世代に、沖縄に生まれてよかったと思う社会をつくっていくのが私たちの役目だとも思います。

合格  
体験記

## 平成27年度採用 教員候補者選考試験



生涯健康教育コース  
校種：小学校  
**根路銘 結奈**  
2014年卒 62期

このたび私が合格できたのは、いろいろな方々の支えがあって成し遂げられたと思っております。家族をはじめ、受験仲間、友人、大学や対策講座の先生方、本当にありがとうございました。採用試験の取り組みについて私の報告が少しでも参考になれば幸いです。一次試験の具体的な勉強方法としては、「理解する→書く→ひたすら暗記」という作業を繰り返して行いました。教職教養は、同窓会の対策講座で集中して臨み、教育法規の習得が出来ました。教育心理、原理、西洋教育等は暗記本を利用し、学習指導要領は、二冊同じ物を購入し、一つは黒く穴あきにし、一つを解答用としました。時事問題は県の施策である、「わかる授業サポートガイド」を始め、「にぬふぁ星プラン」「沖縄県の努力点」「や～なれ～ふかなれ～運動」「いじめ対策」など、教育委員会のHPに記載されている施策をダウンロードし、その内容を説明できるようにしました。一般教養、教職教養は、専門に比べ少ない配点ですが、二次試験対策にもつながるので、熟知するようにしました。全教科の学習指導要領と、技能教科の知識問題は、過去問から、出題の割合を調べました。体育、特別活動は、学習指導要領の内容が多いと解り、ノートにまとめ(書く作業)、カードにし、ひたすら暗記することを

繰り返しました。さらに過去問を解き、未習得の分野をまた勉強・・・といった具合です。休日は仲間と共に勉強すると刺激しあえるので集中力が増して良かったです。

二次試験対策は数名の受験仲間と協力し、与えられた課題の範囲を分担し、全員で全範囲を網羅できるようにしました。本番を想定した、構想4分、授業8分の形式を練習し、導入部分や、展開部分、まとめの部分、どの部分でも大丈夫のように対策を立てました。小論文と面接は同時に対策しました。小論文は必ず先生方に頼んで添削をして貰い、形式(論・例・策)を覚え、話題別のパターンをいくつか準備し、60分で書けるようにしました。同じような内容が面接でも質問されたので大いに役立ちました。また教育時事も同様に質問されたので十分に対策した方が良いと思います。実技のマット運動や水泳はコンスタントに練習しました。音楽のオルガンは、試験本番ではキーボードで弾くので是非キーボードで練習し慣れていたほうがよいかなと思います。

今振り返ると、対策は決して十分ではなく、いろいろな方から情報を頂きながらのものだったので、できるだけ早めに対策に取り組むべきだと痛感しました。同窓会の講座も一部受講できず後悔しています。

最後に面接では、何より「教師になりたい！」という気持ちは誰にも負けない」という強い思いで臨みました。その思いが伝わって嬉しかったです。「教師の行動は全てに意図がある」という実習指導教員の先生の言葉に感銘を受けました。どうか試験合格まで、強い気持ちを持ち、合格目指して頑張ってください。

販促チラシ、会社案内、記念誌など  
印刷物全般についてご相談ください。

相談無料

「会社案内をつくりたい」、「PTAの広報部になったけど新聞をつくったことがない」、「今の封筒はマンネリ化している気がする」、「自分の歩みをまとめたい」など、印刷・出版に関するお客さまのご要望にお応えします。看板制作、HP制作など印刷・出版だけでなく、様々なご要望にもお応えします。

わたしたちは、編集・校正・制作デザイン・印刷まですべて自社で行っているため、迅速かつ密なチームワークが自慢の出版のプロです。ご相談には親身になってお応えしますので、お気軽にご相談ください。

 **新星出版株式会社** 写真ニュース誌 **オキナワグラフ**  
THE OKINAWA GRAPH

代表取締役 神谷俊明

〒900-0001 沖縄県那覇市港町2-16-1(琉球新報開発ビル2F)  
TEL.098-866-0741 FAX.098-863-4850  
E-mail:ssyuppan@nirai.ne.jp

<http://www.s-syuppan.com/>

地域の教育と関わることの大切さ



教育学部  
学校教育教員養成課程  
国語教育専修 教授  
**大城 貞 俊**  
1973年卒 21期  
法文学部国語国文学科

琉球大学教育学部の附属研究施設に「教育実践総合センター」がある。本センターは、「広く教育実践に関わる理論的・実証的研究」を行っている。私も教育学部の一員として、特に「教育実習に関すること」、「附属学校との共同研究の推進に関すること」及び「地域の教育課題の解決にむけた共同研究に関すること」などに、微力ながら関わらせてもらった。

私は郷里大宜味村の教育の手伝いが出来ればと思い、教育学部との組織的な連携を模索した。そんな話を大宜味村の教育委員会に投げかけると、大きな関心を示してくれ、村教育長が直々に大学まで足を運んでくれた。幸い当時の「教育実践総合センター長」は私と同じ専修に所属する同僚で、私の思いを伝えると、教育長に負けないほどの熱意で大宜味村との新しい関係を作ってくれた。スタートしてわずか4年目であるが、今では、学生たちによって学校支援ボランティアが行われるほどになった。今年からは村教育委員会と二人三脚で、村議会第二会議室の提供を受け、「学び舎あじまあ」をスタートさせている。「学び舎あじまあ」は、児童生徒の学習や興味関心に寄り添いながら、自主的な学びを支援するものだが、学生諸君にとっても貴重な体験になり共に成長させてもらっている。

大宜味村との関わりで特徴的なことは、地域全体で大学との関係を歓迎してくれていることだろう。地域にある4小学校1中学校の児童生徒だけでなく、父母や教師も大歓迎をしてくれている。そんな雰囲気に後押しされて、学生諸君も積極的に村行事等を見学したり参加したりしている。塩屋の「海神祭」、大宜味大兼久の「豊年祭」、また村主催の「大宜味夏まつり」では飛び入りでカラオケ大会に参加して大喝采を受けた。

大宜味村には「人材をもって資源となす」という村是がある。資源の少ない村が、教育で人材をつくり、世に送り出すという決意を示したものだ。私の教育学部在職中の数年間は、学部学生と向き合うことが重要な課題であったが、同時に教育は地域と繋がるのが大切だということを学んだ数年間でもあった。今年も地域と関わり学び続けている学生諸君が、来年の「大兼久ハーリー大会」へ参加し、一艘の船を皆で力を併せて漕ぐシーンを楽しく夢見ている。



医療法人 寿の舎  
**首里城下町クリニック**  
SHURI JOKAMACHI CLINIC

内科（高血圧・脂質異常症・糖尿病）  
腎臓病・透析・リウマチ・膠原病・循環器

**琉大医学科 四期生**


医師 **田名 毅**      **比 嘉 啓**

第一クリニック      
 第二クリニック

TEL : 098-885-5000      TEL : 098-833-1001

ホームページ → <http://www.shuri-jc.jp>

医薬品・健食開発を通じて  
人々のQOLの発展に貢献する



レキオファーマ株式会社

LEQUIO PHARMA CO., LTD.

代表取締役 **奥 キ又子**

那覇市松山2丁目1番12号      TEL: 098-867-9114

【俳句の部】

久米島や 白波つくる 甘蔗かんしょの花

とうばらーま 秋の歌声 さびしけり

ゆうな咲く 親子の歌に 心うつ

(仲門 勇市)

【川柳の部】

川柳 詠むゆとりなし この頃は

ソーラーパネル 元を取るまで オレいな

取つといた 夏物スーツ 小っちゃくなり

(おおしろ はじめ)

久しぶり 爆睡したら 路上かよ

念のため 病院受診し 風邪うつる

倦怠期 聞こえぬふりが 板につき

(加賀美 英志)

モノ忘れ 防ぐメモ書き 読み忘れ

定年後 妻は外交 オレ内務

いつか来た 道と知りつつ 流される

(比嘉 忠信)

癒し文字

1978年卒 26期 教育学部 養護学校教員養成課程 米盛智恵子



同窓会創立60年にあたり  
楽しく学び 楽しく歩いた  
琉球大学に 感謝の心を込めて...

随想 尊厳死について思うこと

1961年卒 9期 文理学部法政学科 仲門 勇市

最近、これまでの人生の生き方を反省しながら今後の生き方について考えるようになった。「死」は、いつ、どこから来るかわからないものである。その時に備えて自分の「生き方」について考えてみた。

最近身近な者が末期ガンで旅立った。寂しい思いで

病棟生活を見守っていた。手術後も入退院を繰り返して薬剤を投与されていた。そして、医療の状況を見ていると、患者の意思の前に延命措置が施されているようであった。まず、どのような医療を受けるかは、患者本人の意思決定が基本ではないかと思う。病状の治療であっても回復が見込めなくなると、必然的に延命措置を行うようである。この場合、患者本人の意思決定を尊重されるべきである。私は、今から10年前に父が老衰で病院に入院した際、主治医から延命措置をやりますかと問われたが、父の意思を尊重して延命措置を断った。最近、米国オレゴン州の若い女性が、末期ガンの脳腫瘍で余命わずかだと宣告され、医師から処方された薬を服用して亡くなった。その結果、米国の若者の間では「尊厳死」が関心を呼んでいるようである。米国では、五つの州で尊厳死が法的に認められている。そして、欧州では、フランス、ドイツ、デンマークなどでは延命措置中止を認める法律が制定されている。日本では、「日本尊厳死協会」があり、「自分の最期は、自分で決める」「本人の意思で延命措置を受けずに最期を迎える」つまり、人間の尊厳を保ちながら命を終えることを推進している。

そこで、私は人間の尊厳を保ちながら命を終えることを趣旨とする法律の早期制定化を期待している。

とにかく、終末期医療の「延命ありき」ではなく、「人間の尊厳を保つ人生ありき」を望んでやまない。そして、私は、人間の尊厳を保ちながら人間らしい人生を歩むことを希望している。



## 観光産業科学部産業経営学科 井川浩輔ゼミナールの学生 15 名が 「産学連携ツーリズムセミナー」におけるアイデア・研究発表で最優秀賞を受賞

平成26年9月26日に東京ビッグサイト(東京都江東区有明)で開催された「産学連携ツーリズムセミナー」(公益社団法人日本観光振興協会主催)におけるアイデア・研究発表で、観光産業科学部 産業経営学科 井川浩輔ゼミナールの3・4年次学生15名(代表者:3年次屋我星乃さん、発表者:3年次真栄城佑理さん)が、公益社団法人日本観光振興協会理事長見並陽一氏より最優秀賞を授与されました。

産学連携ツーリズムセミナーは、2005年から産学連携事業の一環として学生と社会人を対象に実施されてきた「産学連携オープンセミナー」を、ツーリズムEXPOジャパン2014に合わせて新たに発展させる形で開催されたものです。本年度の参加人員は、学生および学校関係者213名、社会人(報道関係者含む)77名の290名でした。そのセミナーの第2部において、学生による観光振興に関するアイデア・研究発表が行われました。

アイデア・研究発表のテーマは「2020年のツーリズム～私の考える観光振興のための方策～」で、全国の大学や大学院など約50団体からの応募がありました。8月11日に実施された審査会の結果、その中から成績上位4校(大学2校、大学院2校)が発表校に選ばれました。本賞は9月26日に行われた最終プレゼンテーションの中で最も優れた1校に対して与えられるものです。

受賞アイデア・研究のタイトルは「TOMODACHI PROJECT～SNSでマッチング！観光サービス交換によりツーウェイ・ツーリズムを活性化させよう～」です。このアイデアは、異なる地域に住む人同士が



SNS(ソーシャル・ネットワーク・サービス)を利用してペア(TOMODACHI)になり、交互に自分の地元をパートナーに紹介しながらマニアックな観光を楽しむことで、地域間交流を活発にしようというもの。このアイデアを沖縄で実際に参加者を募集しプロジェクトとして行い、そこで様々なデータを収集して研究という形にまとめました。2020年の東京オリンピック開催に向けて、このアイデアが日本中に、さらには世界中に普及することが期待されます。

今回の受賞にあたって、代表者の屋我さんは「本アイデアが日本全体の観光サービスのレベルを向上させ観光立国の実現の一助になると信じ、サービス実現に向けてこれからも精進してまいりたいと思います。」とコメントし、また、発表者の真栄城さんは「産学連携ツーリズムセミナーに向けてゼミ生全員で頑張ってきましたので、みんなの思いを力に発表しました。このプロジェクトに関わって下さったモニターの皆さんを初め多くの方々々に心から感謝申し上げます。」と、喜びを表現しました。

(琉球大学HPより転載)

感動のおいしさと心地よさ、究極の癒しリゾート。

EM ウェルネスリゾート  
**EM コスタビスタ沖縄**  
 ホテル&スパ

沖縄県中頭郡北中城村字喜舎場1478番地  
**TEL: 098-935-1500**  
<http://www.costavista.jp>

## サークル活動紹介

### 琉球大学フットサルサークル Ryukies

2008年に設立され、2015年で7年になります。

実績を残してきたのは一昨年からで、チームとして目指す目標が確立してきました。

チームは、沖縄県の社会人リーグに参加しており、1部～3部まであるリーグの1部に属しています。大学生のチームが1部にいることが珍しく、若さを活かして活躍しています。1部に属して2年目の去年は2位という好成績で一年を終了したのですが、正直、優勝できる実力があるのでみんな悔しい思いをしていました。

大学選手権という大学生の大会にも毎年参加しており、現在沖縄県で2連覇中です。一昨年は九州大会でも準優勝をし、全国大会にも参加しました。しかし、全国大会では1勝もできずに大会が終わり全国とのレベルの差を知った悔しい大会でした。

2015年度は、今まで主力だったメンバーが卒業な

どの理由で抜けるためチームが弱くなります。しかし、経験と持ち前の若さで社会人リーグでは上位、大学選手権では3連覇を達成して九州大会に行き全国の切符を掴み取りたいと思います。



#### フットサルサークル代表

琉球大学農学部地域農業工学科農地水環境学研究室 4年次  
仲本 一喜

サークル活動報告 男子ハンドボール部 九州リーグ2部昇格  
女子 // // 1部昇格

### 平成27年度「定期総会」等 開催のご案内

期日 平成27年7月11日(土)  
午後1時～  
場所 ホテルロイヤルオリオン  
那覇市安里  
TEL.098-866-5533  
日程 支部長会  
定期総会

引き続き、60周年記念式典、  
記念講演、祝賀会を開催

### 創立60周年記念事業のお知らせ

#### ●チャリティゴルフコンペ

期日 平成27年4月21日(火)  
場所 琉球ゴルフ倶楽部  
南城市玉城親慶原1 TEL.098-948-2464

#### ●記念式典・記念講演・祝賀会

期日 平成27年7月11日(土)  
場所 ホテルロイヤルオリオン  
・記念式典 午後2時～  
・記念講演 午後3時  
・祝賀会 午後4時30分～

#### 記念講演

- テーマ  
「人類の明日を読む」
- 講師  
岸本正之氏  
(岸本ファミリー基金創設者・理事長)

RYUKYUAWAMORI-KUMSENI'S KUMSENI

爽やかに広がる南風の味わい

久米島の久米仙 www.k-kumesen.co.jp

お酒は20歳になってから。妊産婦の飲酒はお控え下さい。お酒は適量に。

本社・工場/沖縄県島尻郡久米島町宇江城2157 TEL.098-985-2276(代) 営業本部/沖縄県浦添市港川2丁目3番3号 TEL.098-878-2276(代)







# 琉球銀行

## 頭取 金城 棟 啓

感動の絶景と沖縄に降る雪景色  
命の庭「ぬちうなー」

株式会社 **ぬちうなー**

代表取締役 高安正勝  
副社長 高安 藤



全国2位受賞  
(年中無休)

〒944-2423 沖縄県うるま市寺郷城宮城2768  
<http://www.nutima-su.jp> TEL:098-983-1140 FAX:098-983-1112



〒901-1203 沖縄県南城市大里字大城1927番地  
TEL (098)945-3029 FAX (098)945-3742  
<http://www.pig-osc.jp/>

## 株式会社カルティベート



代表取締役社長  
**開(比嘉) 梨香**  
Rika Hiraki

〒900-0003 沖縄県那覇市安謝 2-2-12, 202  
<http://www.cultivate-inc.jp>  
TEL 098-868-3856 FAX 098-868-3833  
090-9783-7777  
rika@cultivate-inc.jp

私たちは「観光」と「交流」で地域社会に貢献します。

地域に根ざし 世界にはばたく

ワンツースマイル  
**OTS 沖縄ツーリスト**

本社:那覇市松尾1-2-3 ☎ (098)862-1111  
●旅行部 ●レンタカー部

安心・安全・快適ドライブ

**OTS レンタカー**  
沖縄地区予約センター ☎0120-34-3732

## 米在住の岸本正之氏50万円寄付！

2014年9月16日、米国在住の同窓岸本正之氏（5期生）が理事長を務める岸本ファミリー基金から、本同窓会に対し50万円の寄付をしていただきました。米国に渡った岸本氏はビジネスの世界で成功を取めて同基金を設立、海外18カ国で慈善プログラムを実施しています。岸本氏には、創立60周年記念式典で記念講演をしていただく予定となっています。



幸喜会長に寄付を手渡す岸本氏

## 創立60周年記念誌「人物往来コーナー」への掲載と寄付のお願い

「〇〇くんは今どこで何をしているのかなー」「△△さんはお元気かなー」、同窓会員の近況、活躍状況が知りたくて、創立60周年記念誌に「人物往来コーナー」を設けます。名刺サイズで提出されたものをそのまま掲載したいと思います。掲載料は1件3,000円です。7月11日定期総会・記念式典等の会場で申し込みを受け付けます（先着100件で締め切ります）。

また、記念事業へのご寄付も受け付けておりますので、よろしくお願ひします。

### 千原 太郎

山原でバナナなど植えてます。  
 ○〇学科の皆さんお元気ですかー  
 ○〇学科 19××卒

### △△株式会社

### 主任 首里 花子

たまには飲み会でもしたいですね。  
 みんなそれぞれがんばろう  
 一九××年 △△学科卒

## ■ 会費の納入について（お願い） ■

本同窓会は、昨年創立60周年を迎え、創立時卒業生146名でスタートした本同窓会も現在では約7万5千余の会員を擁するまでに発展しました。これも偏に同窓会活動にご尽力・ご理解をいただいた皆さまのご支援の賜と感謝申し上げます。本同窓会の主な活動内容は、会報発行による会員相互及び大学との連携にかかる情報の提供、学生支援のための大学への寄附、教員候補者選考試験対策講座の開講による就職支援など多岐にわたり、また、県内経済界をはじめ各界のリーダーの方々と連携したシンポジウム等を開催し、学生の就職支援の活動を積極的に行っています。

これらの活動を行う上で資金となる同窓会費が近

年減少傾向にあり、同窓会運営が厳しい状況となっています。会費は、入学時に「入会金1万円」、卒業時に「終身会費1万円」を納入していただいております。これらの会費が同窓会の活動資金となっています。会費の納入につきましては、これまでの郵便局での払込に加え、現在、銀行やコンビニでの納入も行えるよう、会員の便宜を図るための手続きを進めています。

つきましては、同窓会の現状をご賢察の上、会費の納入についてご協力を賜りますようお願い申し上げます。納入にあたっては、「琉球大学同窓会入会金（終身会費）について（お願い）」の文書に同封しています。払込用紙にて納入していただきますようお願いいたします。

FOR YOUR HAPPY TIME  
**Orion**

沖縄には、  
 沖縄のビールがある。

ORION DRAFT BEER

**STOP!** 未成年者飲酒禁止

飲酒は20歳になってから。飲酒運転は法律で禁止されています。妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児の発育に悪影響を与えるおそれがあります。お酒は、おいしく、適量に。

あき缶はリサイクル

## 退職される恩師紹介 (平成 27 年 3 月 31 日付)

～長い間、お疲れさまでした～

法文学部 教授	川平 成雄	教育学部 教授	米盛 徳市	農 学 部	教授	多和田真吉
法文学部 教授	片岡満壽男	理 学 部 教授	二木 治雄	農 学 部	教授	砂川 勝徳
教育学部 教授	山内 進	理 学 部 教授	鈴木 利明	大学院医学研究科	准教授	徳 誠吉
教育学部 教授	加藤 満生	理 学 部 教授	堺 英二郎	亜熱帯生物研究センター	教授	渡部 久実
教育学部 教授	上江洲榮子	工 学 部 教授	森下 陽一	アドミッション・オフィス	室長/教授	中村 肖三
教育学部 教授	大城 貞俊	工 学 部 教授	波平 宣敬			

※掲載についてご了承いただいた先生方です。

## 同窓会会長・副会長・事務局員

会 長	幸 喜 徳 子	事務局長	山 里 将 順
副 会 長	仲 門 勇 市	事務局次長	大 城 朝 憲
	儀 保 博 信	総務部長	大 兼 一 夫
	照 屋 寛 八	書 記	仲 里 恵 子
	九反田 悦 子		
	喜屋武 直 樹		

### 事務局長及び事務局職員紹介

#### ■ 事務局長：山里 将順(1976年卒 24期 法政学科)

昨年12月に比嘉忠信前事務局長の後任として就任いたしました。昭和27年生まれで那覇市出身です。昭和47年復帰の年に国立大学1期生として琉球大学に入学しました。当時は首里キャンパスでの授業でしたので、広々とした現在の千原キャンパスを見ていると隔世の感じがします。琉球大学卒業後、昭和51年4月に当時の沖縄開発庁沖縄総合事務局に採用され、平成24年6月に退職するまで36年間の公務員生活を送りました。その間、大蔵省(当時)等の中央省庁での勤務も経験し、中央での業務のみならず出張等により全国を巡ることができたことは貴重な体験となっています。

趣味は学生時代からやっている楽器の演奏です。琉球大学でも吹奏楽部に所属しクラリネットやサクソフォンを吹いていました。昭和49年に琉球大学が吹奏楽コンクールで初めて九州代表として、全国大会に出場することができ銀賞を受賞したことはいい思い出となっています。退職後また楽器を吹き始め、現在は発表会やミニコンサートなどで演奏

しています。

この度、母校で同窓会の業務が行えることは非常に光栄であり、母校への恩返しができることを大変うれしく思っています。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

#### ■ 書記：仲里 恵子

長年同窓会を支え、ご尽力いただいた與那城政子さんの後を継いだ仲里でございます。国立沖縄青年の家を経て琉球大学(事務職)を数年前に退職しましたが、この度縁あって同窓会のお手伝いをさせていただくことになりました。

現役中は大学の皆様方に大変お世話になり楽しく仕事をさせていただきました。これからは、微力ながら同窓会の発展に力を注いで行きたいと思っています。時間の合間を見て健康づくりのために週1回ヨガをやっています。興味のある方は是非ご一報ください。

今後とも皆様のご指導ご協力のほどよろしくお願いたします。

### 【会報第37号編集委員】

編集委員長／儀保 博信  
副委員長／上原 修  
編集委員／友利 徹男・上原 正信・当真 邦子  
加賀美英志・大兼 一夫・玉城きみ子  
大湾 知子・前泊 美紀

### 琉球大学同窓会会報第37号

編集発行 琉球大学同窓会  
〒903-0213 沖縄県西原町字千原1番地  
Tel:098-895-8039 Fax:098-895-8163  
E-mail: r-dousou@to.jim.u-ryukyu.ac.jp  
HP: ryudai-dousoukai.jp  
印刷 新星出版株式会社